

山と職人と住まい手をつなぐ伝統構法の家づくり ワークショップ「き」組 の挑戦

長野県建設労連では、伝統技能を次世代へ継承するため、県や内外関係者とタイアップし、中堅大工を対象とした「信州職人学校・伝統大工コース」を2009年より開講しました。

このコースは、信州の歴史と風土をふまえ、建築大工としての伝統的技量の向上を図るとともに、現代の多様なニーズの中で新たな仕事分野を開拓しうる能力の育成をめざすもので、毎週土曜、半年間の訓練を行ないます。経験に応じ「基礎コース」と「応用コース」を設け、2009年は基礎コース、2010年は応用コースを実施し、2011年は基礎コース2期生の訓練を実施中です。

各コース修了者には、「信州伝統大工技能評価試験」を実施し、合格者には県知事認定の「信州伝統大工」（1級、2級）の称号が授与され、将来への活躍の素地が形成されます。

この学校は、2010年度、国交省+林野庁「木のまち・木のいえ担い手育成拠点」プロジェクトの全国10拠点の一つに選ばれ、今後さらなる発展が期待されています。

.....

この公開講座は、受講生の座学を兼ねて、通常の授業では盛り込めない内容をテーマに、広く一般市民も参加できるオープンセミナーとして、定期的を開催しています。

今回は、職人の技術を生かした家づくりと、わかりやすい木組の本で著名な、松井郁夫氏をお招きし、ワークショップ「き」組 がめざす取組みをご紹介します。当日は、参加者全員が各立場になってロールプレイング演習に参加し、会場と一体となったダイナミックな参加型講座をめざします。

伝統構法を広めるための実践的方法に触れる貴重な機会と思っておりますので、木造建築に関心をお持ちの若手・中堅職人、事業主、設計者、市民、学生など、多くの方々のふるっての参加をお待ちしています。

期 日：2011年 9月 3日（土）13:30～17:00

講 師：松井 郁夫氏（㈱松井郁夫建築設計事務所、(社)ワークショップ「き」組・代表理事）

会 場：建労会館 大会議室（長野県松本市宮淵本村 1-2）

主 催：長野県建設労連（長野県建設労働組合連合会）/ 伝統建築技能継承事業運営委員会

受講料：組合員2,000円、組合員以外3,000円

定 員：70名（定員になり次第締切）

《信州職人学校 / 伝統大工コースの実習風景》



道具作り



規矩術実習



工作実習



壁フレーム実験



地域調査



研修旅行



東屋建て方実習



信州伝統大工実技試験（修了後）

【松井郁夫氏プロフィール】

略歴：1955年福井県大野市生まれ、1977年東京芸術大学卒業、1979年同大学院修了、(株)現代計画研究所入社、都市計画・アーバンデザイン担当、1985年松井郁夫建築設計事務所設立、1992年まちづくりデザイン室併設、1993年有限会社に変更、東京芸術大学・金沢工芸大学講師、2003年ものつくり大学・大工育成塾講師、2006年株式会社に変更、2009年一般社団法人ワークショップ「き」組を設立

現在：一級建築士、ワークショップ「き」組代表理事、金沢美術工芸大学・大工育成塾講師、内閣官房室・地域伝道師

活動：1985年全国町並み保存運動や1995年阪神淡路大震災を機に、伝統構法の復権に精力を注ぐ。1995年『建築知識』に「木造住宅『私家版』仕様書」連載、2001年「緑の列島ネットワーク」立ち上げに参加、「MOKスクール」講師、「職人がつくる木の家ネット」発起人、2003年ワークショップ「き」組を立ち上げ、(財)住宅産業研修財団「大工育成塾」講師、テキスト執筆、2004年「木組のデザイン」ゼミナールを開講

作品：ワークショップ「き」組、及び松井郁夫事務所にて多数の住宅設計、作品は建築専門誌に多数発表

受賞：福井県大野市景観賞、熊本県景観賞、GOODデザイン賞(Gマーク)、NPO木の建築フォーラム「木の建築賞」等を受賞

著書：『木造住宅私家版仕様書/コンプリート版』(共著、エクスナレッジ、2008)、『木組の家に住みたい!』(彰国社、2004)、『木組』でつくる日本の家/むかしといまを未来につなぐ家づくり』(農山漁村文化協会、2008)



「き」組のシステム



「き」組の家づくり



「木組のデザイン」ゼミナール



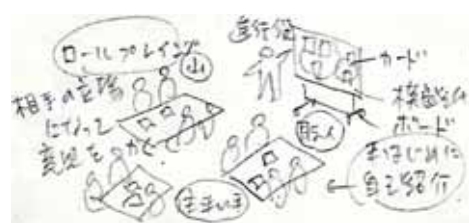
著書

第一部：ワークショップ「施主、山側、設計者、職人のロールプレイング演習」

最初に、現状の家づくりの課題や問題点を洗い出すために、参加者全員が各立場に分かれて、ロールプレイング(役割演習)を行っていただきます。

これは、参加者の属性に関係なく、グループごとに、山や、職人、設計者、住まい手などの立場になって意見を出し合うもので、最後に、出た意見のまとめをグループ毎に行っていただきます。

この方法は、各地のまちづくり活動等に広く取り入れられているもので、ワークショップ「き」組が実践して来た方法でもあります。



第二部：講演「ワークショップ「き」組がめざすもの」

第一部で引き出した問題点や課題を引き継ぐ形で、実践事例をまじえて「き」組の取組をご紹介します、参加者と討論を行います。

- ・いまなぜ、木組の家か? 「き」組の意味
- ・山と職人と設計者が協働して、木組の家を住まい手に提供
- ・みんなが良かったと言える、共存共栄の仕組づくり
- ・素材を生かす手仕事の大切さ
- ・実務の世界は経験が大事、など



申込方法：別紙申込み用紙にご記入の上、8月31日(水)までにFAXにてお申込み下さい。

受講料は、組合員の場合は申込締切日までに所属組合へ納入下さい。組合員以外の方は、当日受付でお支払い下さい。

〒390-0864 長野県松本市宮淵本村 1-2 長野県建設労働組合連合会

TEL 0263-39-7200 FAX 0263-39-7202 (担当：宮川、矢ヶ崎、吉田)

信州職人学校HP(授業風景、案内等掲載): <http://www.u-kensetu.gr.jp/shokunin/>

FAX 0263-39-7202

長野県建設労働組合連合会／伝統建築技能継承事業運営委員会宛
担当／宮川、矢ヶ崎、吉田

信州職人学校第13回公開講座 受講申込用紙

◆講師：松井 郁夫 氏【(株)松井郁夫建築設計事務所代表、(社)ワークショップ「き」
組・代表理事】

演題：『山と職人と住まい手をつなぐ伝統構法の家づくり

— 〈ワークショップ「き」組〉の挑戦 — 』

■開 講：2011年9月3日（土） 午後1時30分～午後5時

■会 場：建労会館（松本市宮渕本村1-2、TEL0263-39-7200）

■受講料：組合員2,000円、組合員以外3,000円

■締 切：受講申し込みの締め切りは2011年8月31日（水）

申込者氏名		
組合名 <small>（※組合に所属し ていれば記入）</small>		
連絡先	事業所名	
	住所	〒
	TEL	
	FAX	
	E-mail	
要望など		

建労会館 案内図



- 実施会場 建労会館<長野県松本市宮渕本村1-2>
- 問合せ先 長野県建設労働組合連合会 (TEL0263-39-7200、担当/宮川・吉田)